



京都文教短期大学 保護者会

会報 第59号 令和8年8月5日発行
編集・発行：京都文教短期大学保護者会
〒611-0041 京都府宇治市槇島町千足80
<https://www.kbu.ac.jp/kbic/>

総
学
教務
生
務課 : 0774-25-2405
課 : 0774-25-2497
課 : 0774-25-2411就 職 進 路 課 : 0774-25-2524
図 書 館 事 務 室 : 0774-25-2420
フィールドリサーチオフィス : 0774-25-2630

■ 学長よりご挨拶

◆ 責任を果たします。

日頃は、本学の教育活動に格別のご理解とご協力を頂戴しておりますことに、本学を代表して深く感謝申し上げます。

一昨年9月、本学は募集停止を発表し、その後も全国で多くの短期大学、四年制大学の閉学が続いています。更にコロナ禍以降の出生数の減少は、教育機関にとって今後大きな痛手となることは間違いありません。財務省は2040年までに少なくとも私立大学を240校、学部定員にして14万人程度、国公立大学定員も年間1,700名程度減らす必要があると、初めて数値目標を発表しました。これは本学園のみならず、多くの中堅私立大学にとって極めて厳しい時代の到来を告げるものです。

本年度は、京都文教短期大学の最終年となります。現在、133名の在学生（2年生）が卒業に向け頑張っています。在学生全員が卒業し、次のステップへ進めるようお手伝いするのが私たち教職員の責任であると思っています。

在学生の皆さんには、最後まで「建学の精神」のもと本学が目標とする『人間力・社会人力・専門力』を身に付け、複雑な社会を生き抜く『柔軟な“こころ”と“からだ”』を育ててほしいと思っています。更に2年間の学びを通して、自身の進むべき道や将来の夢を見つけ、その為に「今何が必要か」、「何をすべきか」に気づいてほしいと思います。人間（ひと）は、“気づく”ために学び、考え、そして行動に移します。学生一人ひとりが“気づく”ことのできる教育環境を作り出すことが我々教職員の役割です。

建学の精神である『謙虚にして真理探究、誠実にして精進努力、親切にして相互協同』の具現化こそ、“生きる力”の基礎であると考えています。教職員は学生一人ひとりが満足し、成長できるように努力する所存です。保護者の皆様方におかれましては今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。



京都文教短期大学
学長 森井 秀樹

■ 保護者会役員会

◆ 会長に増田千景氏を選出

令和8年5月30日(土)光暁館会議室において午前10時より会計監査、11時より役員会を開催し、本年度総会は書面にて決議を行う方法で実施されました。

役員会では、会長の塩田みどり氏と森井学長の挨拶で開会し、まず庶務より令和7年度の主な事業報告として、令和7年5月17日の役員会、総会（書面決議）開催、保護者会報の発行について、学生厚生補導費、教育・就職支援補助費、教材補助費からの各事業について報告があり、異議なく承認されました。続いて、会計より保護者会決算報告、会計監事鷺玲子氏より会計監査報告が行われ、こちらも異議なく承認されました。

次に、令和8年度の役員として、会長 増田千景氏、庶務 佐藤美紀氏、会計 高橋千恵子氏、会計監事 富樫民江氏が選出されました。

続いて、庶務より令和8年度事業計画(案)として、学生厚生補導、学生指導補助、進路就職に関わる教育・就職支援補助、教育支援補助、教材補助等の充実を図る内容が説明がされ、それに基づく令和8年度予算（案）が会計より提案されました。

最後に、今年度短期大学閉学に伴う保護者会解散、最終決算報告の承認手続きおよび残余資産の寄付について説明がされ、すべて異議なく承認されました。

なお、本役員会での承認内容については、会員の皆様へ書面決議ハガキを送付することが承認され、今年度の役員会を終えました。



■ 保護者会会長よりご挨拶

保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、令和8年度保護者会会長に就任させていただきました増田千景と申します。至らない点が多々あるかと思いますが1年間先生と会員の皆様のご協力を賜りながら、精一杯努めさせていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

今年度をもって京都文教短期大学は閉学となります。皆様のご理解とご支援に心より感謝申し上げます。お子様の充実した学生生活のために皆様と共にサポートしてまいりたいと存じます。これまで同様保護者の皆様、先生方のご支援、ご協力よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝と京都文教学園のご発展を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

京都文教短期大学保護者会
会長 増田 千景

■ 令和8年度保護者会役員

会 長	増田 千景 (ライフ総Ⅱ)	庶 務	佐藤 美紀 (幼教Ⅱ)
会 計	高橋 千恵子 (幼教Ⅱ)	会計監事	富樫 民江 (幼教Ⅱ)

令和7年度 京都文教短期大学保護者会決算書

収入の部

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)
(単位 円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
会 費	3,276,000	3,307,000	31,000	12,000×275名、6,000×1名、1,000×1名
預 金 利 息	1,200	2,853	1,653	
前 年 度 繰 越 金	26,924	26,924	0	令和6年度繰越金
収 入 の 部 合 計	3,304,124	3,336,777	32,653	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
学 生 厚 生 補 助 費	1,500,000	1,378,503	121,497	卒業記念品及び祝賀会、学生自治活動、学生生活支援、安全対策費等補助・災害対策用備蓄購入
卒 業 支 援 費	250,000	250,000	0	京都文教短期大学プラバー奨学金へ補助
図 書 補 助 費	900,000	899,303	697	図書購入
教育・就職支援補助費	290,000	188,290	101,710	教育・就職支援へ補助
教 材 補 助 費	200,000	119,879	80,121	教育・研究・施設備品等へ補助
会 議 費	5,000	3,188	1,812	保護者会役員会経費
事 務 費	100,000	85,891	14,109	通信費・宛名ラベル等
印 刷 費	10,000	0	10,000	
雑 費	30,000	0	30,000	
予 備 費	19,124	0	19,124	
次 年 度 繰 越 金	0	411,723	△ 411,723	
支 出 の 部 合 計	3,304,124	3,336,777	△ 32,653	

令和7年度 京都文教短期大学保護者会決算書及び会計帳簿について監査したところ適正であることを確認した。

令和8年5月30日

会計監事 鷲 玲 子 ㊞ 会計 浅 原 映 美 ㊞

令和8年度 京都文教短期大学保護者会予算書

収入の部

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)
(単位 円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差 異	備 考
会 費	1,560,000	3,276,000	△ 1,716,000	@ 12,000×130名 ※5/1現在の学生数135名より約3%減(退学・休学者見込み数)で設定
卒 業 支 援 金	307,530	0	307,530	卒業支援金貸付金返納分 ※特別会計から本会計へ
預 金 利 息	1,200	1,200	0	
前 年 度 繰 越 金	411,723	26,924	384,799	令和7年度繰越金
収 入 の 部 合 計	2,280,453	3,304,124	△ 1,023,671	

支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差 異	備 考
学 生 厚 生 補 助 費	1,400,000	1,500,000	△ 100,000	学生自治活動・各クラブ活動引率経費・安全対策費等へ補助
卒 業 支 援 費	0	250,000	△ 250,000	
図 書 補 助 費	500,000	900,000	△ 400,000	図書購入
教育・就職支援補助費	180,000	290,000	△ 110,000	教育・就職支援へ補助
教 材 補 助 費	100,000	200,000	△ 100,000	教育・研究・施設備品等へ補助
会 議 費	5,000	5,000	0	保護者会役員会経費
事 務 費	50,000	100,000	△ 50,000	通信費・宛名ラベル等
印 刷 費	5,000	10,000	△ 5,000	封筒印刷等
雑 費	20,000	30,000	△ 10,000	慶弔費を含む
予 備 費	20,453	19,124	1,329	
支 出 の 部 合 計	2,280,453	3,304,124	△ 1,023,671	

◆成績・時間割等確認方法について

本学では、Webポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT（ユニバーサル・パスポート、通称：ユニパ）」にて成績及び学期期間中の個人時間割をパソコンやスマートフォンからいつでも確認することができます。

ユニパへのアクセスにはログインID・パスワードが必要になります。ID・パスワードは、入学年度5月頃に本学よりお送りいたしましたハガキに掲載しております。

〈成績・時間割確認方法〉

- ①保護者向けサイトURL (<https://sites.google.com/po.kbu.ac.jp/kbjchogosya/>)
または右QRコードよりアクセスしてください。
- ②保護者向けサイトの「成績・時間割確認の方法」よりユニパにアクセス、ログインいただけます。
- ③メールのお知らせ機能は、ユニパへログイン後、右上の[setting]をクリック、左上の[メール設定]をクリックし、受信メールアドレスを入力してください。本



※成績発表後にいくつかの正当な理由（再試験結果の反映、休学による成績削除など）によって発表された成績が変更される場合があることをご承知おきください。
※スマートフォンの場合は、「スマートフォンはこちら」をクリックせず、ID・パスワードを入力してログインしてください。
※パソコン・スマートフォン等のインターネット接続環境をお持ちでない方はご相談ください。

前期成績発表・・・8月下旬

後期成績発表・・・2月上旬（成績確定は3月上旬です）



ご不明な点等ありましたら、下記までご連絡ください。
〈お問い合わせ先〉 京都文教短期大学教務部教務課
TEL：0774-25-2411 E-mail：aca-aff@po.kbu.ac.jp



■ 学 生 課 よ り

キャンパスライフ

◆今年度の学生支援

2025年度に迎えた現在2回生の学生に対し学生課・アクセシビリティ支援室（旧：障がい学生支援室）・健康管理センター・学生相談室の担当職員、専門職面々は学生支援相談コーナーを設け、学生支援を行っております。学生課は2年間続く学生生活において、環境整備や人的支援により、学生が安心して学業に勤しむことができるよう本学にあるリソース（資源）について提示してまいりますので、経済面、人間関係、体調などさまざまな事情から困りごとや悩みを抱えた学生の相談窓口として、どうぞご活用ください。

自立へ向け成長していくすべての学生にとって必要な支援を学生個々と話し合い、保護者様のご理解のもと、対応いたします。

*DATA

下宿生（一人暮らし）

学生に占める割合2回生 14.7%(21名)

日本学生支援機構採用者数

給付奨学金(授業料減免) 50名

第一種貸与奨学金（無利子）28名 第二種貸与奨学金（有利子）40名

*給付・一種二種の重複者あり。

◆2026年11月 指月祭2026 「テーマ：Make a Splash」を開催いたします

本学の一大イベント「指月祭」は11月7日（土）、8日（日）に開催が決定いたしました。今年のテーマは「Make a Splash」。短大生が迎える最後の指月祭となりますが、未来へ向かう指月祭を保護者の皆様も温かな応援（cheer）をいただきたく、どうぞよろしくお願いいたします。

テーマカラーは爽やかな「青（ブルー）」です。

参加する皆々が楽しめる祭になるようイベント・模擬・情報宣伝・装飾・ステージ・執行部門に分かれ、鋭意準備を進めています。安全面にも細心の注意を払い、皆さまをお迎えします。

ぜひ、お越しください。

◆学友会の年間事業計画

- 7月 ・学友会総会
- 9月 ・2回生へ学内食堂食券配付
- 11月 ・指月祭での短大特別企画 スペシャルトーク
- 12月 ・ビンゴ大会
- 3月 ・卒業式当日の写真撮影ブース設置

◆クラブ・同好会紹介

(2026年6月現在)

○クラブ 6 ○同好会 1 計 7



☆茶道部
昨年度入部した短大生です。

- ★バレーボール部
- ★バドミントン部
- ★バスケットボール部
- ★美術部
- ★茶道部
- ★弓道部
- ★ちよいスポ（同好会）



☆その他 大学の登録クラブ(太道部・風竜舞伝・民音之会)にも入部しています。

◆奨学金授与式

京都文教短期大学同窓会あおい会奨学金より「月影奨学金」
浄土宗より「宗立宗門校奨学金」

本学では毎年、各学科より推薦された成績優秀な学生へ奨学金が給付されます。

2回生は前期に「宗立宗門校奨学金」(10名)、後期には各学科の成績上位の者(学生数の約8%)に対して「月影奨学金」が授与されます。成績上位の学生は、真摯に学業に取り組み、頑張った学生たちの代表でもあります。昨年度森井学長、小西学生委員長より温かなエールが贈られました授与式での様子を紹介いたします。



浄土宗 宗立宗門校奨学金授与式(2025年度)



月影奨学金授与式(2025年度)

◆学生支援の相談窓口について

「相談したいな」と思ったら...

それぞれの相談内容に合わせてリンクに飛べます。
まずは相談予約を入れてみませんか？



あなたの相談ごとは何ですか？

- 1 **健康面での心配がある** (病気のこと・服薬について・ケガについて...等)
→ [健康管理センター](#)へ
(↑をクリックするとメール画面にリンクしています。
本文にお名前と相談内容を書いて送信してください)

- 2 **心の面での心配がある** (イライラや落ち込み・誰にも話せず悩んでいる...等)
→ [学生相談室](#)へ
(↑をクリックするとHPにリンクしています。その中の「お問い合わせ」からご連絡いただけます)

- 3 **病気や障がいなどにより授業で困っていることがある**
(欠席が多くなる・提出期限までに課題ができない・人前で発表できない・教室に入れない...等)
→ [アクセシビリティ支援室](#)へ
(↑をクリックすると面談予約ができます)

- 4 **学生生活のことで悩みがある**
(奨学金・経済面の悩み・課外活動・アルバイト・休学や退学...等)
→ [学生課](#)へ
(↑をクリックするとメール画面にリンクしています。
本文にお名前と相談内容を書いて送信してください)

- 5 **大学内でのイジメや嫌がらせについて悩んでいる**
(学生どうしのイジメや嫌がらせ、先生から学生へのハラスメント...等)
→ [キャンパスハラスメント相談室](#)へ
(↑をクリックするとメール画面にリンクしています。
本文に相談内容を書いて送信してください)


■就職部・就職進路課より

保護者の皆様におかれましては、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は本学の教育活動にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。
さて、お子様の就職活動は、将来を左右する大切な一歩であり、保護者の皆様におかれましてはご心配の尽きないことと思います。今回は令和7年度の就職概況と本学の取り組み、そして保護者の皆様にぜひ知っていただきたい情報をお届けいたします。
是非、ご一読ください。

1. 令和7年度 就職活動の概況と主な特徴

① 就職率（詳細は添付参照）

文部科学省の調査によると、短期大学令和7年度卒業者の就職率は97.4%（令和8年4月1日集計）となり、前年度とほぼ同水準を維持しました。

本学の就職決定率は就職希望者に対して98.2%となり、昨年の97.1%から約1pt、全国平均を上回る高い水準を保っています。一方で、卒業生を分母とする就職決定率いわゆる実就職率は85.7%に留まりました。就職希望者も80.9%と前年度の93.3%から減少したこともその理由です。進学をした方が10名と前年度の1名から大きく増えたこともその理由の一つです。

② 早期化・前倒しの選考

多くの企業が選考スケジュールを前倒しする傾向が続き、本来の6月よりも早めて選考を開始する企業が目立ちました。学生にとっては早期に内定を得ることが重要となり、計画的な活動がより一層求められました。

③ オンライン選考の定着

企業説明会や面接など、多くの選考過程がオンラインで行われ、その形式が定着しました。学生は場所や時間に縛られず、効率的に活動できるようになった一方で、直接対面でのコミュニケーションの機会が減り、情報収集や自己表現に工夫が必要となる側面も指摘されています。

④ 学生の志望動機

「安定志向」や「ワークライフバランス」を重視する学生が増加する傾向は引き続き見られました。また学生の企業選びの軸として、「やりがい」等個人の興味関心や社会貢献への意識に基づいた企業選びに加えて、「休日日数や休みの取りやすさ」「勤務地、自宅から通勤できる場所」「給与面、たくさんもらえる会社」の傾向も強くなっています。

2. 本学のサポート体制

本学では、学生が自信を持って就職活動に臨めるよう、多岐にわたるサポートを提供しています。入学以降にスタートする「進路オリエンテーション」や「就職ガイダンス」では、自己分析や目標設定、就職活動の進め方などを体系的に学び、将来への意識を高める内容を盛り込んでいます。一般企業向けの就職支援に加え、保育園・幼稚園、栄養士職向けの専門職ガイダンスやイベントも実施しています。学内企業説明会等実践的な経験を通してキャリアを深めることができるようサポートしています。また、就職進路課では学生一人ひとりのニーズに合わせたきめ細やかなサポートを提供しています。職員スタッフが個別に相談に乗り、目標や状況に合わせたアドバイスや情報提供、就職活動スケジュール管理や求人紹介、面接対策など、就職活動のあらゆる面でサポートをしています。



3. 保護者の皆様へ就活サポート

お子様が安心して就職活動に取り組めるよう、以下の点を参考にさせていただきますと幸いです。

○見守る姿勢と傾聴

お子様の就職活動の状況を気遣いつつも、過度な干渉は避け、お子様自身の意思を尊重してください。会社説明会に参加して興味を持ったか、面接の様子など話を聞いてあげるだけでも、お子様は安心感を得ることができます。また、就職活動は、精神的な負担も大きいものです。励ましの言葉やねぎらいの言葉をかけ、精神的な支えとなってあげてください。

○情報共有と理解

就職活動の早期化やオンライン化など、現状の就職活動のトレンドをご理解いただき、お子様が直面している状況を知り共有していただくことで、より良いサポートに繋がります。

○経済的なサポート

交通費やスーツ代など、就職活動には一定の費用がかかります。必要に応じて、経済的なサポートをご検討ください。

4. 知っておくべき就職活動用語 (5選)

お子様とのコミュニケーションの一助として、最近の就職活動でよく使われる用語を5つご紹介します。

■ エントリー・エントリーシート (ES)

企業へ応募することを「エントリー」といい、その会社に興味があることを示すものです。エントリーは就活ナビサイトを使用するのが一般的です。エントリーの際に提出する企業が独自に作成した応募書類のことを「エントリーシート」(ES)と言います。履歴等の基本情報に加え、自己PRや志望動機、会社独自の質問等を設けているのが特徴です。

■ ガクチカ

「学生時代に力を注いだこと」の略。エントリーシートや面接で聞かれることが多く、定番の質問です。「力をいれた経験」だけでなく、その経験から「学んだこと」や「自分の強み」となったことを表現することが大切です。

■ 内々定

正式な内定通知の前段階として、企業が学生に採用の意向を伝えることです。法的な拘束力はないものの、事実上の採用決定を意味します。

■ オワハラ

「就活終われハラスメント」の略。内定辞退を避けるために、他社への就職活動をやめるよう強要されたり、内定を出す前に内定承諾書を提出させたりと、学生の職業選択の自由を妨げる行為として政府も防止の徹底を要請しています。

■ オヤカク

「入社を親に確認すること」の略。内定者に向け「保護者は内定承諾に賛成してくれているか」と確認をしたり、企業側が保護者に直接、内定承諾の確認を行うことを言います。背景には学生有利にはたらく就職環境から内定辞退が深刻化しており、「親から反対されたから」という辞退理由も増えています。内定辞退の対策として企業が保護者に向け会社案内の送付や電話での挨拶などを行うことがあります。

就職進路課では、就職だけではなく進学やその他の進路についても全面的にサポートしています。また学生からの相談対応につきましてはメールの他、WEB面談での支援も行っております。不安なことがございましたら気軽に就職進路課を訪ねようご指導いただければ幸いです。引き続き皆様のご理解とご協力をお願い致します。

京都文教短期大学 就職部 就職進路課



令和7年度 卒業生の進路・就職状況 令和8年5月1日現在

()内数字は令和6年度

京都文教短期大学 就職部 就職進路課

項 目	学 科	ライフデザイン総合			幼児教育	合 計	備 考
		合計	ライフデザインコース	栄養士コース			
A. 卒 業 者 数		71 (79)	38 (46)	33 (33)	65 (71)	136 (150)	
B. 大 学 進 学 等		7 (0)	6 (0)	1 (0)	2 (1)	9 (1)	
C. 専 門 学 校 等		1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	
D. アルバイト 等		10 (4)	6 (1)	4 (3)	4 (2)	14 (6)	注:週30時間未満または雇用契約期間1年未満の者
E. 進 学 準 備 等		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
F. そ の 他		1 (1)	0 (1)	1 (0)	1 (2)	2 (3)	
G. 不 明		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
H. 就職希望者数		52 (74)	26 (44)	26 (30)	58 (66)	110 (140)	
I. 就職決定者数		51 (70)	26 (42)	25 (28)	57 (66)	108 (136)	
J. 未就職者数 (H-I)		1 (4)	0 (2)	1 (2)	1 (0)	2 (4)	
K. 就職希望率 (H/A)		73.2% (93.7%)	68.4% (95.7%)	78.8% (90.9%)	89.2% (93.0%)	80.9% (93.3%)	
L. 就職決定率 (I/H)		98.1% (94.6%)	100.0% (95.5%)	96.2% (93.3%)	98.3% (100.0%)	98.2% (97.1%)	
M. 実就職率 (I/(A-B-C))		81.0% (88.6%)	81.3% (91.3%)	80.6% (84.8%)	90.5% (94.3%)	85.7% (91.3%)	
就職 先 業 種	農業、林業	0	0	0	0	0	
	鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0	
	建設業	0	0	0	1	1	
	製造業	6	3	3	1	7	
	電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	0	0	0	
	情報通信業	0	0	0	0	0	
	運輸業、郵便業	1	0	1	0	1	
	卸売業・小売業	19	14	5	0	19	
	金融業・保険業	2	1	1	1	3	
	不動産取引・賃貸・管理業	2	2	0	0	2	
	広告・その他の専門・技術サービス	0	0	0	0	0	
	宿泊業、飲食サービス業	11	1	10	1	12	栄養士8名
	生活関連サービス業、娯楽業	1	0	1	0	1	
	学校教育	1	0	1	26	27	幼稚園教諭2名、保育教諭26名、栄養士1名
	その他の教育、学習支援業	0	0	0	2	2	
	医療業・保健衛生	1	0	1	0	1	
	社会保険・社会福祉・介護事業	5	3	2	25	30	栄養士2名、保育士25名
	複合サービス事業	0	0	0	0	0	
	宗教	0	0	0	0	0	
	その他サービス業	2	2	0	0	2	
	公務	0	0	0	0	0	

■ 図書館より

宇治キャンパス内には、図書館が三館（普照館・至道館・常照館）あり、約33万冊の蔵書を利用することができます。

中でも短大生がよく利用する至道館の図書館は、1974年竣工の一番古い図書館で、積層書架という珍しい構造となっています。

歴史ある貴重な資料を所蔵し、一方では最新の資料と情報も備えたどこかレトロな魅力ある図書館を目指しています。

学生は、三館それぞれのもつ資料の特徴や館内の雰囲気、開館時間の違いを上手く活用し、日頃の自習の場や居場所として利用しています。

資料の閲覧・貸出だけではなく、電子ブックの充実、DVDの視聴、パソコンの利用、グループ学習の利用など、学生のさまざまなニーズに対応するべく環境を整えています。

また、新入生対象図書館ガイダンスやゼミ単位等での図書館情報利用講習会の実施、学生が大型書店で自ら本を選ぶ企画「学生選書ツアー」の開催、栄養士・幼稚園・保育所の各実習に役立つ図書コーナーや授業の課題・就職活動・資格取得に役立つ図書コーナー等を適時設けるなど、少しでも学生にとって役立つ図書館であるよう日々工夫しています。

さらに所蔵視聴覚資料の紹介を兼ねた映画DVDの上映会、和装本ワークショップを開催した。また、指月祭では学園祭の歴代のパンフレットの展示も行い、大学・短期大学、学部・学科を超えて楽しめる交流の場となるような企画も展開しています。

これらの様々な情報は、キャンパス内での掲示ポスターだけでなく、図書館情報システムを活用した情報発信に加え、図書館情報誌「あーゆす」などでそれぞれの特徴を生かしたタイムリーな発信にも努めています。なお図書館情報誌「あーゆす」では、学生ライターも募集しており、これまで多くの学生が寄稿してくれています。バックナンバーは、図書館ホームページからご覧頂けますのでぜひご一読ください。今後も学生が安心して利用できるよう図書館運営に努めて参ります。

保護者の皆様におかれましても、地域に開放しております本学図書館をご利用頂きますようご案内申し上げます。

図書館利用証のお申し込み、その他詳細は図書館ホームページをご覧ください。

(<https://opac.library.kbu.ac.jp/drupal/>)



蔵書数（3館合計） 【2026年3月31日現在】

一般図書	325,802冊
絵本・文庫・新書等	61,423冊
視聴覚資料（DVD・VHS等）	8,991点
雑誌・新聞等	2,705種

■ 社会連携部 フィールドリサーチオフィスからのお知らせ

◆ 京都文教大学・京都文教短期大学社会連携部フィールドリサーチオフィスについて

京都文教大学と京都文教短期大学社会連携部フィールドリサーチオフィスでは、地域に根ざした教育、研究、社会貢献を軸に、学生や教職員と地域の架け橋となり、学生が地域の方々とふれあい活躍できる場、教員が社会に貢献できる機会を創り出す役割を担っています。

【行政、経済団体との連携について】

本学は、これまで宇治市(平成22年2月)、京都府(平成27年3月)、久御山町(平成30年2月)、精華町(平成31年2月)、宇治商工会議所、城陽商工会議所、久御山町商工会(平成31年3月)、城陽市(令和2年1月)伏見区(令和2年3月)一般社団法人京都中小企業家同友会(令和4年3月)と連携協力に関する協定をそれぞれ締結し、地域との連携・協力を発展させながら、様々な取り組みを進めてきました。

また、京都府・滋賀県との就職支援協定を締結し、京都府や府内の企業と連携して「就職支援」「インターンシップ」「企業理解」をキーワードにさまざまな取り組みを強化・促進しています。

【学生、教員の地域での活動について】

学生たちはこれまで、地域の子どもたちや親子を対象にした食育活動や音楽イベントなどの企画・開催、市町村や企業と協同した地元農産物を使ったメニュー開発、にこにこルームや近隣幼稚園・保育所での活動や宇治市等で開催されている各種イベントへの出展参加など、地域との取り組みや社会への貢献を実践することで、授業での学習成果に加え、主体的に取り組む力や実践的・社会的学びを体得してまいりました。

(1) 宇治市役所食堂での「適塩ランチ」の提供

宇治市役所食堂において、2nd Kitchen ((株)きっちんカンパニー) ×宇治市健康づくり推進課×京都文教短期大学(望月ゼミ)のコラボレーションにより、学生が考案した適塩副菜レシピを「適塩ランチ」として提供しました。

(2) 城陽市「減塩メニュー」の考案

誰もが健康で人生の最後まで自分らしく暮らせるまちを目指すために、高血圧症の予防・改善を図るための「減塩」を核とした「健康で質の高い」まちづくりを進める取り組みに城陽市が令和2年度より京都文教短期大学との協働で事業を実施しています。

城陽市の広報誌である「広報じょうよう」と健康情報サイト「HEALATHO」(<https://healatho.com/>)には、京都文教短期大学ライフデザイン総合学科 栄養士コースの学生と教員が考案した減塩レシピや教員によるコラムの掲載、城陽市内の飲食店が取り組む塩分量を抑えた「減塩メニュー」の開発など様々な活動に取り組んでいます。

(3) 社会福祉法人山城福社会 槇島福祉の園へのレシピ提供

学生が考案した減塩副菜レシピを、槇島福祉の園「きっちん・まきしま(就労継続支援B型)」が実施する配食サービス弁当の副菜として提供しました(担当:坂本准教授、望月准教授、授業連携:研究ゼミナールⅠ・Ⅱ)。

(4) 幼児教育学科「にこにこルーム」での実践

本学は宇治市から地域子育て支援拠点の事業委託を受けた特定非営利活動法人「まきしま絆の会」と協働で、キャンパス内に子育て支援施設「にこにこルーム」を開設しています。ここで幼児

教育学科では各教員の専門性を生かした各種プログラムを学生企画のもと実施しています。昨年度は、広い体育館での運動遊び、構内の芝生広場を使っのの水遊び、パネルシアターや製作遊び、打楽器を中心とした音楽遊び等を実施。近隣にお住まいの親子の皆様との笑顔溢れる交流を通し、学生自身も学びを深める機会となりました。また、ショッピングモールや児童館などでアウトリーチ型プログラムを実践するゼミもあります。



【にこにこルームでの実践】

(5) 公開講座の実施・協力

伏見連続講座「親子で伏見クッキング☆～老舗の醤油蔵がつくる醤油を使って和テイストのスイーツづくりにチャレンジ!～」(ライフデザイン総合学科准教授 福田小百合、授業連携:クッキングクリエイト実習)「親子で伏見クッキング☆～老舗の醤油蔵がつくる醤油を使って野菜ラーメン作りにチャレンジ!～」(ライフデザイン総合学科准教授 小西康仁、授業連携:研究ゼミナールⅡ)を開催して、本学の専門的知見を地域に還元しました。

その他、ともいき(共生)フェスティバルへの参加や、うーちゃフェスティバルへの参加など、学生にとっても学科の専門知識や技能の習得にとどまらず地域連携活動を通して社会性や主体性・実践力を高め、卒業後の社会生活にも役立つ学びとなるよう支援しています。